

CO₂を減らすくらしの工夫

エネルギーのムダ使いをしていませんか。エネルギーのムダ使いは、二酸化炭素(CO₂)排出量を増やすことになります。次のことを参考に、家計も助かるエコライフで、CO₂を減らす工夫をしてみませんか。

冷房の温度を1℃高く、暖房温度を1℃低く設定

冷暖房を使い始める時期を少し遅らせたり、フィルターもこまめに掃除すれば効果があります。すだれやブラインドを用いたり、観葉植物などを置いたりするのも夏の省エネに効果があります。

- 年間 約31kgのCO₂の削減
- 年間 約2,000円の節約

週2日車の運転をやめる

CO₂排出量を抑えるためだけでなく、エネルギーの観点からも、週に2日は車を運転せずに、自転車や公共の乗り物を利用しましょう。健康にもいいですよ。

- 年間 約185kgのCO₂の削減 (往復8kmの場合)
- 年間 約8,000円の節約

1日5分間のアイドリングストップ

アイドリングをしていると、1分間で約28gのCO₂が排出されています。荷物の積みおろしや駐車場の空き待ちなど、ちょっとした駐車中もエンジンを止めましょう。

- 年間 約39kgのCO₂の削減
- 年間 約2,000円の節約

待機電力を90%削減

多くの家電製品はリモコンの電源を切っただけでは電力を消費し続けます。使っていない家電製品は主電源を切りコンセントからプラグを抜きましょう。

- 年間 約87kgのCO₂の削減
- 年間 約6,000円の節約

シャワーを1日1分 家族全員が減らす

入浴するときは沸かし直しのないよう時間を空けずに入りましょう。また、お湯の流しっぱなしはやめましょう。節水機能付きシャワーヘッドなどを使うと便利です。

- 年間 約65kgのCO₂の削減
- 年間 約4,000円の節約

風呂の残り湯を洗濯に使いまわす

お風呂の残り湯は洗濯や庭の水やりに有効に使いましょう。専用のポンプを使うと便利です。また、子どもの靴洗い、雑巾がけ、ベランダや屋外の掃除、洗車などにも使えます。

- 年間 約17kgのCO₂の削減
- 年間 約5,000円の節約

ジャーの保温を止める

電気炊飯器や電気ポットなどの保温は、利用時間が長いと、多くの電気を消費します。冷えたごはんは電子レンジで温めなおす方が消費電力を減らせます。

- 年間 約31kgのCO₂の削減
- 年間 約2,000円の節約

家族が同じ部屋で団らんし、暖房と照明の利用を2割減らす

家族が同じ部屋で一緒に過ごせば、省エネにも家族団らんにも効果があります。必要のない照明はこまめに消し、省エネ効果のある照明器具等を選びましょう。

- 年間 約240kgのCO₂の削減
- 年間 約11,000円の節約

買い物袋を持ち歩き、省包装の野菜を選ぶ

レジ袋や食品のトレーはゴミのもとになります。買い物袋を持参して、省包装の商品を選びましょう。また、アルミ缶、牛乳パック、トレイなどのリサイクルに努めましょう。

- 年間 約58kgのCO₂の削減

テレビ番組を選び、1日1時間テレビ利用を減らす

見たい番組だけを見るようにし、つけっぱなしや音量を不必要に大きくするのをやめましょう。省エネ型テレビも発売されています。

- 年間 約13kgのCO₂の削減
- 年間 約1,000円の節約

自らがモデル 長門市役所エコ・オフィスプラン

市役所では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」により「長門市役所エコ・オフィス実践プラン」を策定しました。

これにより、自ら実施する事務・事業について環境への負荷を軽減し、

環境にやさしいオフィスづくりを推進することにより、排出される温室効果ガスの削減を図ります。平成18年度は職員周知のための試行期間、平成19年4月1日から平成24年3月

31日までの5カ年を実践プラン実施期間とし、次の目標を掲げ、市民・事業者等の自主的な取り組みを促進するモデルとなります。

電気・燃料使用量の削減

平成23年度の電気使用量・燃料使用量を平成18年度レベルから、電気使用量5%、重油5%、灯油5%、LPガス使用量5%以上の削減を目指します。

水使用量の削減

平成23年度の水使用量を平成18年度レベルから5%削減を目指します。

公用車等の利用合理化と

低公害車等の導入

平成23年度の公用車燃料使用量を平成18年度レベルから15%（軽油20%）以上の削減を目指します。また、公用車の更新は低公害車等の導入に努めます。市職員のノーマイカ通勤を月2回実施します。

近年、「地球の温暖化」、「オゾン層の破壊」、「酸性雨」、「熱帯雨林の減少」、「砂漠化」、「海洋汚染」など広範囲な環境問題が生じています。中でも、その解決の困難さなどから「地球の温暖化」が最も深刻な問題とされており、この解決のために京都議定書が平成17年2月16日に発効されました。

日本の目標は、温室効果ガス排出量6%削減です。地球環境を揺るがす、温暖化問題。この原因には、フロン、メタン、亜酸化窒素などがありますが、特に二酸化炭素(CO₂)の急増が最も大きな問題となっています。電気を使い、自動車に乗り、大量のゴミを出し続ける私たちの生活、そのためにCO₂は大幅に増加し、今地球は壊れつつになっています。

6月は環境月間です。地球温暖化を食い止めるため、CO₂の排出を減らす…少しでも私たちの暮らしを見直して、できることから始めてみませんか。

みんなで止めよう地球温暖化 6月は環境月間です

ゴミの減量化とリサイクル

平成23年度のゴミ排出量を平成18年度レベルから燃やせるゴミ10%以上、燃やせないゴミ5%以上の削減を目指します。

用紙類の使用量の削減

コピー用紙や封筒の使用量を平成18年度実績から毎年4%以上削減し、平成23年度には20%以上の削減を目指します。その他の用紙類の使用量も削減に努めます。

再生紙の使用促進

コピー用紙は再生紙（古紙配合率100%）の使用率100%。封筒・罫紙は原則再生紙、印刷物も再生紙使用に努めます。トイレットペーパーはすべて再生紙（古紙配合率100%）を使用します。

環境にやさしい製品・原材料の使用

（グリーン購入の促進）環境への負荷の少ない（環境にやさしい）製品の購入、使用に努めます。